

ロゼッタ探査機が明らかにした

彗星の姿

ハレー彗星の探査が行われてから約 30 年後。

探査機「ロゼッタ」によるチュリュモフ・セラシメンコ彗星の探査が行われました。

ロゼッタは彗星探査史上初となる「周回探査」に成功し、

約 2 年という長期に渡り多くのデータを我々に提供してくれました。

得られた成果の紹介とともに、「彗星」という天体の理解の変遷について解説します。

2022 7/10 日

13:15 - 14:10

京都産業大学 神山天文台
地下 1 階 神山天文台ホール
(オンラインでもライブ配信します)

講師



こばやし ひとみ
小林 仁美氏

株式会社フォトクロス / エストリスタ

1984 年生まれ。幼稚園時代に出会った絵本の影響で天文学の道に。

2012 年 3 月、京都産業大学大学院理学研究科物理学専攻にて博士号（物理学）を取得。専門は彗星の観測的研究。

現在はフリーランスとして天文・物理分野の研究サポートサービス業や執筆活動を行う傍ら、株式会社フォトクロスにも所属し、研究活動を続けている。

入場無料

高校生以上対象

来場希望者は要予約



※神山天文台ホームページ内 申込みフォームより申し込みください。
オンラインで視聴される場合は申し込み不要です。
応募の際にご提供いただきました個人情報は、イベント運営以外の目的では使用いたしません。

※全国同時七夕講演会は、7 月 7 日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と日本天文教育普及研究会との共催事業として、神山天文台が実施するものです。

主催 京都産業大学 神山天文台
共催 彗星会議 / 日本天文学会 / 日本天文教育普及研究会
その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場には定員を設けております。
また、感染拡大の状況により、オンライン配信のみに切り替えることもございますのでご了承ください。
問合せ 京都産業大学 神山天文台 ☎075-705-3001 🌐<https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>